

令和3年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	5
事業の状況	9
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	9
公2 生活創造活動への支援	19
公3 芸術文化の振興	22
公共 丹波地域情報の発信等	23
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	24
他1 芸術文化団体等活動支援事業	24
III 法人会計	24
施設の利用状況	25
(1) 丹波の森公苑	25
(2) 丹波年輪の里	26
(3) ささやまの森公園	26
(4) 丹波並木道中央公園	27
事業の受託状況	29

令和3年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年(1988)に設立(平成2年(1990)法人化、平成24年(2012)公益財団法人へ移行)され、「丹波の森宣言」(昭和63年9月1日)に基づき、人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援に取り組むとともに、県立4施設(丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園)の指定管理者として、丹波の森づくりの拠点施設に相応しい運営を担ってきた。

平成30年度には、「丹波の森宣言」から30周年を迎え、これまでの取組を総括し、改めて「丹波の森宣言」に込められた地域づくりの理念の重要性を確認し、SDGs(持続可能な開発目標)等の新たな視点を加え、今後の30年を見据えた「丹波の森づくりのこれから」として取組の方向性を示した。

一方、令和2年1月以降、新型コロナウイルスの感染が拡大し、令和2年度は二度の緊急事態宣言の下、「三つの密」の回避やリモートワークなど新しい生活様式の中での事業推進や施設運営のあり方が問われてきた。新型コロナウイルス禍で、丹波地域はもとより全国的、世界的な規模で失われた損失や非日常からの回復、復興と価値観の再構築が大きな課題となる中、丹波地域が有する豊かな自然環境や森のスローライフなど生活スタイルの持つ特性が、今後の新しい生活様式に最も適応した地域として田園回帰や2地域居住に広がるなど、大きく注目されている。

これまでの丹波の森づくり活動の実践として、令和2年度には、「檜皮茸」の選定保存技術を含む「伝統建築工匠の技」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことや「丹波篠山の黒大豆栽培」が日本農業遺産に認定されるなど丹波の森づくりは、着実な展開が見られる。また、恐竜・哺乳類等化石を活かした丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの推進では、世界最小恐竜卵化石の発見や化石石割体験、スタンプラリーを通じた啓発活動の他、篠山層群が露頭する川代溪谷の旧県道整備などの取組が進んでいる。また、生物多様性では、本州で一番低い中央分水界(分水嶺)を全国に発信する氷上回廊水分れフィールドミュージアム拠点施設「水分れ資料館」のリニューアルオープン、有機農業の郷丹波市市島町でのコウノトリ巣塔設置、丹波篠山市での河川環境整備など新たな展開が始まっている。

こうした取組を着実に前進させ、未来に繋ぐため、森の自然や文化と調和した地域生活情報の発信、生物多様性を重視した環境学習の推進、里山の価値を見直し、丹波産材の活用を促す木育の推進など様々な分野の学習、交流、地域づくり事業等を、ポストコロナ社会に向けた新しい生活様式の中で先導して推進し、支援していく。

ウィーンの森親善訪問は、新型コロナウイルスの終息まで実施を見合わせるが、オオムラサキの交流では、2019年から2020年までの飼育状況の整理及び新生卵が未孵化となった解析とオオムラサキの食樹であるエノキの現地での育成に取り組む。

芸術文化においては、丹波地域の秋の風物詩となっている「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」の再開と、丹波文化団体協議会等の活動を継続して支援することにより、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進していく。

丹波の森研究所では、リモートワークや移住・二地域居住の視点も加え、引き続き「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」を重要研究テーマに位置づけ、大学や地域、行政機関と連携し、研究・調査に取り組むとともに、様々な市民活動を支援するシンクタンクとしての役割を果たしていく。

また、当協会が指定管理を担っている県立4施設は、令和3年度から新たな事業計画に基づく指定管理期間が始まるため、丹波の森宣言の実践施設として、さらに人的交流を含む施設間の連携強化を図り、里山文化の魅力発信、芸術文化の振興に向けた取組の充実を図る。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

(1) 魅力ある地域づくりの推進

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

(3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、新型コロナウイルス感染予防に配慮した運営を行いながら、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

1 丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、シンボルの森として里山を楽しめる施設となるよう維持管理を行う。

2 豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援をする。また、生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。

本年度は、オンライン講義の導入を検討するとともに、各講座・研修等の内容の充実を図り、シニア世代の豊かな学びと社会参加を支援する。

3 音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。地域で芸術文化活動を展開している丹波文化団体協議会等の活動を支援するほか、丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばのコンサートを再開し、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進する。

また、丹波の森公苑ホールは、天井耐震化工事等計画的な改修工事を実施するとともに、丹波の森公苑の施設全般について老朽化の改修工事を推進する。

- ・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。

特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで、幅広い実習内容を工夫すると共に、団体及び個人利用者向けには、木工キットメニューの見直しを随時行う。

林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木材研修会や木育キャラバン事業、情報収集広報活動等の充実を図る。

- ・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

さらに、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組を通して、広葉樹を中心とした樹林の維持造成を推し進め、水源地として魅力ある里山づくりに努める。

- ・「県立丹波並木道中央公園」は、令和3年度から新たな指定管理期間を迎えるにあたり、「丹波の森構想」と「SDGs」の理念や考え方を踏まえ、当公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田などを活用した事業や、当公園の魅力である丹波の特産物と恐竜化石を活かしたイベントの実施などを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。

またポストコロナ社会に適合した利用促進や利便性の向上を図るため、利用の質を変える新サービスを展開する。具体的には、花木林や景観林に遊べる森ゾーンの創出や、自然観察などセルフ型の公園遊びプログラムの開発、専門的観点から多様な人が楽しめるユニバーサルな公園備品の設置や空間整備など、来園者が憩いと安らぎを感じる公園運営に努める。

令和3年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

ア 丹波の森大学の開設

イ ウィーンの森親善訪問事業

ウ 丹波の森研究所

エ 地域づくり支援事業

- ・ 地域づくり支援事業
- ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
- ・ 季節を彩るミニガーデンイベント開催事業
- ・ たんばオープンガーデン交流促進事業
- ・ 丹波の里山づくり発信事業
- ・ 丹波地域における移住および二地域居住等現状分析事業
- ・ 戦略的移住推進モデル事業

オ 花づくり活動支援事業

カ 丹波の森フェスティバルの開催

キ 丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催

【県立丹波並木道中央公園】

ク 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

ケ 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

ア 丹波地域生物多様性保全事業

イ 丹波の森公苑里山事業

ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業

エ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

- ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
- ウ 講座「丹波学」の開設
- エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウィーク等受入
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

【全施設】

(4) 公2共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催
- ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催
- エ 展示ギャラリーの開設
- オ 伝統文化活性化支援事業
- カ 丹波の森公苑芸術文化配信事業
- キ 座つ展 -丹波で坐る木の椅子-
- ク 音楽活動団体等への支援

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等
- イ 運営委員会の開催

【全施設】

【全施設】

Ⅱ 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

Ⅲ 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

令和3年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の状況

(資金ベース)

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

※見え消しは新型コロナウイルスにより中止となった事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額	
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり（森・守・盛）びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第31期 テーマ 「森の声を聴く」 ・募集定員：50人 ・受講生数：57人 ・受講料：8,000円 ・講座回数：9回	1,552,000	1,534,219	
	イ ウィーンの森親善訪問事業 (協会事務局)	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○丹波の森のシンボル（オオムラサキ）への支援 日本の里山のシンボルともいえる国蝶オオムラサキについて飼育環境の助言と情報交換を行う。	183,000	132,888	
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	「丹波の森構想」（人・自然・文化・産業の調和した地域づくり）を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	○集落の再生・活性化方策の検討 ・昨年度の調査研究に引き続き、小規模集落化に伴う丹波地域の地域環境の保全再生方策を探るために、全世界を対象としたアンケート調査を、大阪府立大学との共同研究として実施した。 ○シンポジウム「丹波の森づくりの新展開に向けて」～次世代のもりびとと共に～ 開催日時：8月9日（月・祝） 13：30～16：00 場 所：丹波の森公苑ホール 参加者数：153名 【第1部】 ・丹波の森研究所における調査研究の報告 大平和弘氏（兵庫県立大学） 上田萌子氏（大阪府立大学） 出町慎氏（佐治倶楽部代表） 上甫木昭春（丹波の森研究所） 【第2部】 ・これからの移住体験について 丹波県民局の今井局長から丹波県民局の取り組みの紹介 【パネルディスカッション】 ・移住者、地元住民、専門家など計6名によるパネルディスカッション	6,987,000	6,475,184	
	エ 地域づくり支援事業					
	・地域づくり支援事業 (協会事務局)	活力と魅力ある丹波の森（地域）づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援（アドバイザー派遣）、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	○アドバイザー派遣 ①丹波篠山市河原町地区「（河原町通り無電柱化完成記念）銚復活実行委員会」におけるアドバイス業務 ・道路上空に電線がなくなったことから110年ぶりに銚を設置した銚山巡行を実施する（令和5年春予定）実行委員会のコーディネート ・委員会開催：11/6、12/18、3/19 ②福住地区まちづくり協議会支援 ・戦略的移住推進モデル事業推進にかかわるアドバイス ・協議会開催：7/15、9/2、11/4、1/13、2/15、3/10	1,085,000	994,521	

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	<p>・たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業</p> <p>(協会事務局)</p> <p>【丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会受託事業】</p>	<p>篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。</p>	<p>①丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム事業プロデューサー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業推進プログラムの企画調整など事業の総合プロデュースを行う。 <p>②フィールドミュージアム事業の今後の展開についての検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」を策定し、構想で提案された様々な事業を展開してきたが、7年が経過する中で改めて構想の達成状況を精査し、今後の事業実施に向け、方向を検討する機会を設けた。 ・検討会の開催(全2回) ・開催日:10/2、10/27 <p>③丹波地域恐竜化石オンラインセミナー開催業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地からも参加できるようWeb会議システム等を活用して、剖出体験と卵化石研究者による世界最小の恐竜卵化石の解説、篠山層群の魅力解説を行うオンラインセミナーを開催(2回開催) ・開催日:10月31日(日) 「恐竜化石調査に“参加する”ってどんなこと?」 ・開催日:令和4年3月20日(日) 「Jackpot(大当たり)!化石研究を語りつくそう in 篠山層群」 <p>④モバイルスタンプラリー実施業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプラリーを活用して、ギネス世界記録に認定された「世界最小の恐竜卵化石」の発見地や恐竜ゆかりの地をめぐる非接触、長期、分散型のモバイルスタンプラリーを実施。 ・実施期間:11/13~12/19 ・実施場所:恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設ほか10ヶ所のポイント ・総参加者数:936名 ・総スタンプ数:2,245個 	660,000	660,000
	<p>・季節を彩るミニガーデンイベント開催事業</p> <p>(協会事務局)</p> <p>【丹波県民局受託事業】</p>	<p>花と緑の美しい地域づくり活動を推進するため、丹波地域のサイクリングロード整備の取組みに合わせて、丹波の森公苑などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。</p>	<p>○丹波の森ミニガーデンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集:7月10日(土)~8月10日(火) ・制作説明会:9月1日(水) ・展示期間:10月2日(土)~31日(日) ・開催場所:道の駅あおがき、道の駅丹波おばあちゃんの里、丹波の森公苑、丹波並木道中央公園、丹波年輪の里(5ヶ所、10枠) ・参加グループ:丹波の森花くらぶ、丹波市商工会女性部有志、南中ふれあい・いきいきサロン、中野母親クラブ、年輪の里有志、春日中学校、青垣中学校、篠山産業高校、篠山東雲高校、氷上高校 	1,507,000	1,507,000
	<p>・たんばオープンガーデン交流促進事業</p> <p>(協会事務局)</p>	<p>個人の庭を広く一般に公開する社会活動として「オープンガーデン」が開催される。花を愛する人が花を通してつながり、「人がつながる」「花がつながる」、そして「交流が始まる」という趣旨に賛同し、協会としても丹波の森公苑に庭を作り、オープンガーデンに参加する。この活動により、ガーデニングのスキルアップだけではなく、花と緑のまちづくり、人々の交流、学習、環境美化などの様々な成果が上げられる。</p>	<p>○たんばオープンガーデンへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:5月23日(日) ・場所:丹波の森公苑 <p>※4月開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	102,000	101,550

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	<p>・丹波の里山づくり発信事業</p> <p>(協会事務局)</p> <p>【丹波の里山づくり促進事業実行委員会】</p>	<p>丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森として捉え、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいくための取り組みを県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する。</p>	<p>○丹波の里山づくり支援(丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援事業)</p> <p>・公募により選定された丹波の里山づくりモデル10団体にアドバイザーを派遣する。</p> <p>(1)平松区森林愛好会(丹波市)</p> <p>(2)生郷里山づくり懇話会(丹波市)</p> <p>(3)NPOバィマフォーム丹波(丹波市)</p> <p>(4)下三井庄自治会(丹波市)</p> <p>(5)北岡本自治会(丹波市)</p> <p>(6)森の学び舎(丹波篠山市)</p> <p>(7)上板井自治会(丹波篠山市)</p> <p>(8)八幡共有山組合(丹波篠山市)</p> <p>(9)岩崎自治会(丹波篠山市)</p> <p>(10)ふるさと和田里山づくり協会(丹波市)</p> <p>・里山づくりワークショップを通して作成された「里山づくり30年計画」実現に向けての取り組み、課題解決支援をしている。</p> <p>・里山づくりアドバイザー会議</p> <p>開催日:令和4年1月27日(木)</p> <p>場所:丹波の森公苑 会議室3</p> <p>出席者:丹波農林振興事務所、里山づくりアドバイザー、丹波の森研究所、協会事務局</p>	3,003,000	3,003,000
	<p>・丹波地域における移住および二地域居住等現状分析事業</p> <p>(兵庫県受託業務)</p> <p>(協会事務局)</p>	<p>豊かな自然のある地域で過ごしたいという地方回帰の流れが強まる中、丹波地域は都市近郊にありながら、日本の原風景と言える田園空間やブランド農産物、集落に残る複数の古民家等の地域資源がある。丹波地域において、移住や二地域居住の更なる推進を図るうえで必要となる地域の状況を把握するため、移住および二地域居住促進の現状や今後の可能性等について調査分析を行う。</p>	<p>○丹波地域における移住および二地域居住等現状分析業務</p> <p>・丹波地域への人の動きの把握(移住的側面、観光側面)</p> <p>・移住および二地域居住者へのヒアリング調査</p> <p>・移住および二地域居住促進に向けたネットワークの構築のための分析</p>	980,000	980,000
	<p>・戦略的移住推進モデル事業</p> <p>(丹波篠山市福住地区まちづくり協議会受託事業)</p> <p>(協会事務局)</p>	<p>当該事業は、兵庫県の補助事業である「戦略的移住者推進事業」で計画策定・活動支援、移住コーディネーター雇用支援、移住者促進支援等の業務内容の内、「計画策定・活動支援」について丹波の森研究所が支援している。</p> <p>補助事業の目的は、「多自然地域において地域内の高齢化の進行、年齢構成の偏りが懸念される中、戦略的に移住者や二地域居住者の受け入れに取り組み地域を支援し、将来にわたって人口維持、地域活力の維持を実現する。」である。</p>	<p>○戦略的移住推進モデル事業(丹波篠山市福住地区)の推進支援、共同調査、事業アドバイスをを行った。</p> <p>・共同開催のシンポジウム「丹波の森づくりの新展開に向けて」の企画及び開催支援</p> <p>・連携プロジェクトアドバイザーとして移住コーディネーターを支援</p> <p>・新たな移住推進の仕組み等の研究調査</p> <p>移住促進、移住サポートの仕組みづくりを検討</p> <p>・移住と暮らしのガイドブック(暮らしのルールブック)作成支援</p>	1,250,000	1,250,000
オ	<p>花づくり活動支援事業</p> <p>(丹波の森公苑)</p>	<p>花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。</p>	<p>○花と緑の教室(基礎講座)</p> <p>・内容:草花等の育成知識習得、寄せ植え実習</p> <p>・受講者数:39人/募集70人</p> <p>・受講料:13,400円</p> <p>・講師:県立ワーカーから派遣</p> <p>・実施期間:7月~令和4年3月(年6回→5回)</p> <p>○花と緑の教室(自主活動グループ)</p> <p>・内容:花と緑の教室を受講し、知識・技術を習得した者をリーダーとして、花の魅力を伝える花と緑の教室を地域単位で開催</p> <p>・グループ数等:4グループ・16人</p> <p>・受講料:11,400円</p> <p>・講師:花と緑の教室を受講した者</p> <p>・実施期間:7月~令和4年3月(年6回→5回)</p>	887,000	887,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>○園芸教室 (応用創作講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：創作寄せ植えを中心とした知識修得、実習 ・受講者数：30人／募集36人 ・受講料：6,000円(材料費等別) ・講師：ひょうごガーデンマイスター認定 田丸和美 ・実施期間：6月～令和4年3月(年6回) 		
カ	丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	地域住民をはじめ、各種団体や企業、丹波篠山市・丹波市など丹波の森づくり団体の交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	<p>体験事業やワークショップを取り入れたフェスティバルを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：10月24日(日) ・ワークショップ等 14ブース ・活動団体の作品展示等 10団体 ・特設ステージ 8団体 ・来場者数：1,100人 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催</p>	478,000	478,000
キ	丹波の森収穫祭(なみきみちまつり)の開催 (並木道中央公園)	県立都市公園の推進テーマ「活力あふれる地域づくりに資する公園」の施策方針「地域の活力をもたらす公園づくり」を目指し、「なみきみちまつり」を開催する。丹波地域の特産物の収穫を祝うとともに、大人も子どもも楽しめるプログラムを実施することによって都市部からの来場を図り、地域住民と都市住民との交流を深める場とする。	<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>代替イベントとして「なみきみちスペシャルウィーク」とし、分散型完全予約制のイベントを開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：10月2日(土)～11月7日(日) ①10月3日(日)「化石の日」 イベント参加者103人 ②10月30日(土)「木工の日」 イベント参加者10人 <p>・場所：丹波並木道中央公園</p>	0	0 (丹波並木道中央公園事業で計上)
ク	丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。	<p>地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えるとともに、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。</p> <p>○工作室における木工クラフトの指導(通年)</p> <p>団体 12団体 405人 個人 2,359人</p> <p>○ゴールドウィークフェスタ 開催期間：5月1日(土)～5月5日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子工作教室 ・丹波ウッドワーカースクラフト ・座の展2021-丹波で座る木の椅子 ・アトリエ作品展 ・フリーマーケット ・竹とんぼ教室 ・ツリーイング教室 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○林産指導事業 木を暮らしに取り入れるための普及(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイトからの木材に関する情報提供 ・木材業界や一般県民の木材に関する木材利用相談などに応じている。 ・宍粟市、猪名川町・丹波市の幼稚園保育所等の園児を対象とした木製玩具づくりワークショップを実施した。(7カ所) ・自然学校や養護施設の児童を対象としたワークショップを実施した。 ・ワークショップの活動後に木育キャラバン用具の体験。ワークショップ受け入れの市及び施設担当者との協議し、木製玩具体験の時間を設定した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「木育キャラバン」は中止していたが、多くの幼児に木製玩具を体験してもらうために、玩具の貸出しを実施した。 (1施設1週間・20箇所) 	2,351,000	2,345,937

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ケ 丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)	<p>県立都市公園(丹波地域唯一の広域公園)として、県民のレクリエーション需要を充足することを目的に、公益財団法人兵庫園芸・公園協会との共同事業体で管理運営を行う。</p> <p>令和3年度から新たな指定管理期間を迎えるにあたり、「丹波の森構想」と「SDGs」の理念や考え方を踏まえ、当公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田などを活用した事業や、当公園の魅力である丹波の特産物と恐竜化石を活かしたイベントの実施などを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。</p> <p>またポストコロナ社会に適合した利用促進や利便性の向上を図るため、利用の質を変える新サービスを展開する。具体的には、花木林や景観林に遊べる森プーンの創出や、自然観察などセルフ型の公園遊びプログラムの開発、専門的観点から多様な人が楽しめるユニバーサルな公園備品の設置や空間整備など、来園者が憩いと安らぎを感じる公園運営に努める。</p>	<p>利用促進事業(自主事業・参加型プログラム)の企画・運営</p> <p>【活力あふれる地域づくりに資する公園】</p> <p><バーカイト「篠山層群 岩砕調査最前線!」> 人と自然の博物館の研究員によるトンネル岩砕調査の経緯と状況の生解説 開催日時:10月31日(日)11:00~11:30 募集定員:10人 参加者:5人</p> <p><棚田の赤米を活用したイベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植え体験(一般) 開催日:5月22日(土) 募集定員:3組10人 参加者数:4人 ・かかし立て(認定こども園) 開催日:9月22日(水) 募集定員:なし 参加者数:2人 ・稲刈り体験(一般) 開催日:10月23日(土) 募集定員:3組10人 参加者数:3人 ・稲刈り体験(認定こども園) 開催日:10月26日(火) 募集定員:特になし 参加者数37人 <p><丹波茶・日本茶のイベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶摘み体験とお茶の作り方 開催日:5月25日(火) 募集定員:10人 参加者数:9人 ・かやぶき民家でお茶づくし 開催日:6月5日(土) 募集定員:特になし 参加者数:30人 ・七夕茶会 開催日:7月4日(日) 募集定員:10人 参加者数:8人 ・和紅茶づくり 開催日:7月23日(金・祝) 募集定員:10人 参加者数:8人 ・釜炒り茶づくり体験 開催日:10月16日(土) 募集定員:10人 参加者数:8人 ・寒茶づくり体験 開催日:令和4年2月6日(日) 募集定員:10人 参加者数:9人 <p><黒枝豆収穫体験> 開催日:10月17日(日) 募集定員:10人 参加者数:25人</p> <p><ささやま狂言の会発表会></p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p><ギャラリーかやぶき民家></p> <ul style="list-style-type: none"> ・並木道絵画倶楽部展覧会 開催日:10月27日(水) ~11月3日(水・祝) <p><ノルディックウォーキング> 実施期間:毎月第3日曜日実施 (5月、8月は中止) 参加者数:計120人</p> <p><心とからだの癒し講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロマックサージュづくり(アロマヒー)開催日:4月21日(水) 募集定員:10人 参加者数:9人 ・苔玉づくり(園芸療法)開催日:5月19日(水) 募集定員:10人 参加者数:10人 ・金彩野草図をかこう!(臨床美術)開催日:9月22日(水) 募集定員:10人 参加者数:9人 ・ハーブの石けんづくり(アロマヒー)開催日:10月27日(水) 募集定員:10人 参加者数:7人 	1,767,000	1,763,678

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>・クリスマスリースづくり (園芸療法) 開催日：11月24日(水) 募集定員：10人 参加者数：8人 ＜各種駅伝競走大会＞</p> <p>・丹波篠山市・丹波市中学生駅伝競走大会 開催日：10月20日(水)</p> <p>・丹有地区駅伝競走大会 開催日：10月27日(水)</p> <p>・ミニ駅伝大会 (丹波篠山市教育委員会主催) 開催日：11月6日(土)</p> <p>【子育てに資する公園】 ＜間伐材を使った遊具の製作・更新＞ 4月～6月 すべり台の製作 5月 手押し車更新 9月 手押し車更新 ＜プールあそび＞ 7月～8月の平日、1家族1組のみで計画 するも利用者なし。 ＜そうめん流し＞ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 中止 ＜無料ぬりえ・管理棟おもちゃコンナ＞ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 中止 ＜そり貸出＞ 冬に実施(5組) ＜なみきみちわくわくフェスティバル＞ 5月に分散型で実施(緊急事態宣言の措置 がとられたため、中止のイベント多数となっ た。) ＜凧作り体験＞ 開催日：令和4年1月9日(日) 募集人員：20名 参加者数：13人 ＜親子でデイキャンプ＞ 開催日：令和4年3月26日(土) ※雨天中止</p> <p>【環境との共生に資する公園】 ＜大人の木工教室＞ 実施期間：毎月第1・第3土曜日 (5月、7月第3土曜日は中止) 募集定員：各回4人～5人 参加者数：計39人 ＜なみきみちクラフト＞ 実施期間：年に数回 (6/12, 7/10, 8/28, 9/11, 10/30, 12/5, 1/13, 2/12, 3/12) 募集定員：各回12人 参加者数：計38人 ＜花と緑の教室＞ フラワーセンターとの連携事業 実施期間：年8回 募集定員：24人(12人×2回)</p> <p>・第1回 夏の草花の寄せ植えと管理法 開催日：5月21日(金) 参加者数：21人 ・第2回 夏の花木を使った寄せ植えと管理法 開催日：6月18日(金) 参加者数：24人 ・第3回 秋の苔玉づくりと管理法 開催日：9月17日(金) 参加者数：20人 ・第4回 秋の草花の寄せ植えと管理法 開催日：10月15日(金) 参加者数：23人 ・第5回 ポインセチアを使った寄せ植えと管理法 開催日：11月26日(金) 参加者数：18人 ・第6回 正月を飾る寄せ植えと管理法 開催日：12月17日(金) 参加者数：28人</p>		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<ul style="list-style-type: none"> ・第7回 早春の草花の寄せ植えと管理法 開催日：令和4年2月18日(金) 参加者数：9人 ・第8回 春の草花の寄せ植えと管理法 開催日：令和4年3月18日(金) 参加者数：25人 <ミニ門松づくり> 開催日：12月19日(日) 募集定員12人 参加者数20人 <里山スクール> 丹波篠山市主催事業への協力 募集人数：20名 参加者数6人 ・チェーンソー講習会 開催日：11月20日(土)、21日(日)、 27日(土) 場所：西紀老人福祉センター ・間伐実習 開催日：11月28日(日) 場所：丹波並木道中央公園 <p>【持続可能なパークマネジメントの推進】</p> <p><ナイトパーク></p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんどんづくりワークショップ(代替イベント) 開催日：8月9日(月・祝) 募集人員：20人 参加者数：15人 <p><その他他団体との大規模イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・森のまつり(中止) <p><木材供給システム></p> <p>兵庫丹波の森協会・園芸公園協会が管理する施設等と調整しながら間伐材の提供など実施</p> <p><化石発掘体験会(丹波篠山市教育委員会)> 開催日：7月25日(日) 8月22日(日) 10月3日(日) 募集人員：各回10人 参加者数：54人</p> <p><化石発掘体験会(丹波地域恐竜化石ワールドミュージアム推進協議会)> 開催日：令和4年3月19日(土) 募集人員：30人 参加者数：23人</p> <p><兵庫丹波チャレンジ200フルコースライド大会(丹波県民局)> 開催日：10月23日(土)～24日(日) 参加者数：22人</p> <p><コスモスつみとり体験> 開催日：11月6日(土) 募集人員：30名 参加者数：27名</p> <p><たんば恐竜街道スタンプラリー> 開催日：11月13日(土) ～12月19日(日) 利用者数：236人</p> <p><PARK LIFE></p> <p>広報紙「PARK LIFE」を年に5回配布。公園の旬のトピックスを表紙に取り上げる。</p> <p><ホームページやSNSの更新></p> <p>公園ホームページ、Facebook、SNSを活用。 本年度よりInstagramの運用を開始。</p> <p><持込企画の実施と調整></p> <p>【実施済みの団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並木道絵画倶楽部 (展覧会、石ころアート) ・日本茶を楽しむ会「Tan-te」 (日本茶イベント) ・楽々美香草(心とからだの癒し講座) ・プリラボTao(ワークショップ)など 		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業 (協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	○生物多様性の推進に向けた実践プロジェクトの提案 ・本業務では、生物多様性保全に向けた情報発信など地域の意識向上を図りつつ、「丹波地域における生物多様性の推進に向けた実践プロジェクト」の提案に向けた検討を行った。 ・提案では丹波篠山市、丹波市両市の環境特性や地域での取り組み等を踏まえ、来年度以降のプロジェクト実施に向けた具体的な取り組みを検討。 (1) 実践プロジェクトの主旨と概要 (2) 実践プロジェクトの具体的な提案 ○フェノロジーカレンダーの作成 ・フェノジーとは生物季節学という意味で、自然を中心とした年間暦であり、年間の自然と生活・活動の流れが理解できる。 ・時間軸を考慮して、生活の中で自然・文化を守る取組として、フェノロジーカレンダーを作成し、PRを図る。 ・丹波年輪の里、ささやまの森公園及び丹波並木道中央公園フェノロジーカレンダー発行	1,293,000	1,289,200
	イ 丹波の森公園里山事業 (丹波の森公園)	丹波の森公園の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。 また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業 ・森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公園里山を拠点とした研修及び相談事業の実施。 【講座】 日 程：10月～令和4年1月(6回開催) 受講者数：5人 参加費：1,000円 場所：丹波の森公園 【相談】※令和3年度から開始 日 程：随時 相談件数：61件 ・里山及び環境学習体験フィールドの整備 森づくり講座受講生等を中心とした自主活動グループ「里山倶楽部(H15創設、会員数25人)」及び「里山整備サポーター(H30創設、会員数11人程度)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、遊歩道整備、草刈り、生き物飼育場の整備を行う。 ○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。 ・体験飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導(17小学校、2高校、10事業所等) ・第12回記念放蝶会 日時：7月4日(日) 場所：丹波の森公園管理棟正面玄関 参加者数：20人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、兵庫丹波オオムラサキの会会員のみで実施) 放蝶数：20頭 ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト 対象：小学生 募集期間：8月1日(日) ～9月30日(木) 応募総数：181点	648,000	648,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			作品展： ① ゆめタウン丹波会場 10月29日(土)～11月11日(木) ② 兵庫陶芸美術館会場 令和4年1月8日(土) ～18日(火) ③ 丹波の森公苑会場 令和4年2月3日(木) ～15日(火) ・他団体のオオムラサキの舞う里山づくりへの支援 柏原自治協議会主催のオオムラサキ展示、放蝶会の開催への協力 実施期間：7月6日(火)～11日(日)		
ウ	丹波の森公苑環境学習推進事業 (丹波の森公苑)	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	○子ども対象プログラム ・丹波縄文の森塾の開催 開催期間：6月～令和4年3月 参加料：6,500円 塾生：30人/募集30人(小3～6) 内容：里山探索、生きもの観察、縄文土器づくり、ツリーイング、稲刈りなど ※縄文キャンプは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○リーダー養成プログラム 自然体験活動サポーター設置(22名) サポーター：高校・大学生、社会人等 内容：自然体験活動のノウハウの取得 縄文の森塾の運営支援 ○環境学習支援プログラム ①親子・家族対象プログラム ・春の里山ふれあいハイキング ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・秋の里山ふれあいハイキング 開催日：10月24日(日) 参加者数：11人(定員30人) ※春の里山ハイキングの代替として、丹波の森フェスティバルにおいて実施 ・丹波いきもの大集合 開催日：7月17日(土) 会場：丹波ゆめタウン 参加者数：400人 ②幼児・小学生対象プログラム ・里山の秋の爽り体験 開催期間：9月17日(金) ～10月15日(金) 参加者数：764人 参加者：丹波地域の認定こども園、小学校等 ・出前講座の実施 オオムラサキ等関係 28回 ・国蝶オオムラサキ越冬幼虫探し 日時：2月27日(日) 参加者数：33人 ○昆虫大捜査線 in 丹波の森公苑 ～ひととはくの昆虫博士と一緒に～ 開催日：8月28日(土) 17時～19時 場 所：丹波の森公苑 対 象：親子 (小学生以下・保護者同伴) 定 員：25人(子どものみ) 参加者数：21組の親子 総計75名 参加費：無料 採集昆虫数：69種 296匹	1,334,000	1,302,249

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	エ ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園)	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	○基本プログラム ・里山体験班：草木で染めよう、布ぞうりを作ろう、癒しのテラリウムを作ろう等 プログラム回数：32回 参加者数：213人 (定員の定めのあるもの288人に対して206人) ・里山伝承班：黒枝豆を収穫しよう、そば道場入門、黒豆のお味噌を作ろう等 プログラム回数：15回 参加者数：137人 (定員の定めのあるもの163人に対して137人) ・自然学習班：バードウォッチング、3種類のホタルを観よう、秋の花と実を楽しもう等 プログラム回数：11回 参加者数：108人 (定員の定めのあるもの140人に対して108人) ・レクリエーション班：深山登山、アマゴのつかみ取りをしよう、木登り体験等 プログラム回数：15回 参加者数：128人 (定員の定めのあるもの127人に対して106人) ・里山復元班：丸太のベンチ作り、森の時計作り、チェーンソー安全教室等 プログラム回数：14回 参加者数：115人 (定員の定めのあるもの123人に対して115人) ○特別プログラム ・里山ワークショップ： ウッドバーニング、テラリウム作り、ウッドクラフト、草木染め、昔の竹のおもちゃ作り 参加者数：134人 ○森の学校(第14期生) 動植物の観察、飯盒炊さん、森の木を切る体験、冬の生きもの探し等 募集定員：15人(小学3年～6年生) 参加者数：15人(10回/年) ○団体プログラム ・団体利用：自然観察、ウッドクラフト森のようちえん等 参加者数：25団体、744人 ・篠山東雲高校「里山文化」(第6回) 間伐体験、ちまき作り、陶芸、シカ肉料理、黒豆味噌作り等 参加者数：生徒8人(19回/年)	11,051,000	10,952,295
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	164,927,763	162,483,724

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額																																	
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む) (丹波の森公苑)	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供 ・生活創造活動支援のための相談・助言 ・生活創造活動グループサポート事業 (グループ数実績：9グループ)	180,000	38,391																																	
		消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	○消費生活出前講座の実施(7回実施) ○消費生活にゅーすの発行(4回発行)																																			
イ 生活創造活動施設貸し館業務 (丹波の森公苑)	新型コロナウイルス感染予防に配慮した運営を行いながら、会議室、多目的ルーム、ホール、練習室等について、県民の生活創造活動のために統一的な基準による貸し館業務を行う。県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	利用者数(貸し館に係るもの) (単位：人)																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設</td> <td>ホール・アトリエ</td> <td>34,915</td> <td>32,067</td> <td>29,685</td> <td>10,225</td> <td>14,477</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>34,692</td> <td>35,041</td> <td>28,510</td> <td>13,939</td> <td>19,466</td> </tr> <tr> <td>テニスコート等</td> <td>19,789</td> <td>20,965</td> <td>23,193</td> <td>13,892</td> <td>16,700</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>89,396</td> <td>88,073</td> <td>81,388</td> <td>38,056</td> <td>50,643</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	R2	R3	施設	ホール・アトリエ	34,915	32,067	29,685	10,225	14,477	研修棟	34,692	35,041	28,510	13,939	19,466	テニスコート等	19,789	20,965	23,193	13,892	16,700	計	89,396	88,073	81,388	38,056	50,643			
	H29	H30	R1	R2	R3																																	
施設	ホール・アトリエ	34,915	32,067	29,685	10,225	14,477																																
	研修棟	34,692	35,041	28,510	13,939	19,466																																
	テニスコート等	19,789	20,965	23,193	13,892	16,700																																
計	89,396	88,073	81,388	38,056	50,643																																	
			施設使用料収入 (単位：円)																																			
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設</td> <td>ホール・アトリエ</td> <td>4,793,950</td> <td>4,668,450</td> <td>4,257,050</td> <td>2,366,500</td> <td>2,807,150</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>2,801,800</td> <td>2,973,150</td> <td>2,297,000</td> <td>1,714,900</td> <td>2,077,200</td> </tr> <tr> <td>テニスコート等</td> <td>2,994,500</td> <td>2,960,050</td> <td>3,501,900</td> <td>2,486,900</td> <td>3,062,500</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,590,250</td> <td>10,591,650</td> <td>10,055,950</td> <td>6,568,300</td> <td>7,966,850</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	R2	R3	施設	ホール・アトリエ	4,793,950	4,668,450	4,257,050	2,366,500	2,807,150	研修棟	2,801,800	2,973,150	2,297,000	1,714,900	2,077,200	テニスコート等	2,994,500	2,960,050	3,501,900	2,486,900	3,062,500	計	10,590,250	10,591,650	10,055,950	6,568,300	7,966,850		
	H29	H30	R1	R2	R3																																	
施設	ホール・アトリエ	4,793,950	4,668,450	4,257,050	2,366,500	2,807,150																																
	研修棟	2,801,800	2,973,150	2,297,000	1,714,900	2,077,200																																
	テニスコート等	2,994,500	2,960,050	3,501,900	2,486,900	3,062,500																																
計	10,590,250	10,591,650	10,055,950	6,568,300	7,966,850																																	
			<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日から5月11日は臨時休館となり、利用者数・施設使用料収入に影響を受けたが、感染症対策を実施し、安心して利用していただけるように努めており、令和2年度と比べると回復傾向にある。</p> <p>また、令和4年度に予定しているホール天井耐震改修工事及び計画修繕工事により利用者の利便性向上を図り、利用促進のためHP等を活用しPRに努める。</p>																																			
ウ スポーツ大会・文化教室の開催 (丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会を開催する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○特別工作教室 ・募集講座 (年/1回～8回コース) 募集講座数：32講座 募集定員：213人 参加者数：189人 ・定期講座 手仕事道具塾(年/各22回) 参加者数：165人(年間) 木工クラブ(年/22回) 参加者数：147人(年間) Teshigoto work shop(年/12回) 参加者数：34人(年間10月から) ○グラウンドゴルフ大会(年4回予定) (第1回)開催日：6月1日(火) (第2回)開催日：9月7日(火) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (第3回)開催日：12月7日(火) 募集定員：144人 参加者数：99人 (第4回)開催日：令和4年3月2日(水) 募集定員：144人 参加者数：116人 ○第5回「心を届ける たんば絵てがみコンクール」 テーマ「希望」 募集期間：9月1日(木)～12月28日(水) 応募総数：318名から439点 展示期間 ① 令和4年2月5日(土)～20日(日) ② 令和4年3月1日(火)～22日(水) 展示場所 ① 丹波年輪の里木の館 ② 兵庫県中央労働センター ※他、丹波の森公苑、ゆめタウンでも巡回展予定	2,195,000	2,185,200																																		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設 (丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	○丹波OB大学 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60人 ・受講者数：101人(1年27人、2年18人、3年27人、4年29人) ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催期間：4月21日(水)～令和4年3月2日(水)全18回 ・受講料：12,500円	1,650,000	1,650,000
	イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設 (丹波の森公苑)		○丹波OB大学大学院 ・学習年限：2年 ・募集定員：各学年30人 ・受講者数：20人(1年16人、2年4人) ・講座内容：基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催期間：4月21日(水)～令和4年3月2日(水)全18回 ・受講料：12,500円		
	ウ 講座「丹波学」の開設 (丹波の森公苑)	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	・テーマ：丹波ゆかりの人ともの～丹波史研究の最前線～ ・開催期間：8月28日(土)～12月18日(土)全5回 ・場 所：丹波の森公苑ホール ・募集定員：120人 ・受講者数：115人 ・講 師：渡邊大門氏((株)歴史と文化の研究所代表取締役)ほか ・受講料：5,000円	655,000	655,000
	エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催 (丹波の森公苑)	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、創作作品の展示を通して、日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい、交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	○丹波地域学ぶ高齢者のつどい ・開催日：9月23日(木)、24日(金) ・場 所：丹波の森公苑多目的ルーム ・参加者数：455人(丹波地域内の高齢者大学受講生など) ・内 容：作品展(出品数107点。書、工芸、手芸、日本画、写真、洋画、彫刻、短歌・俳句・川柳) ※芸能発表は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	90,000	90,000
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク等受入 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (丹波並木道中央公園)	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	○中・高校生にふさわしい体験プログラムの開発を行う。 ・トライやる・ウィーク(中学生) 【丹波の森公苑】 期間：11月16日(火)～18日(木) 受入生徒数：3人 【丹波年輪の里】 期間：11月16日(火)～18日(木) 受入生徒数：4人 【ささやまの森公園】 期間：11月2日(火)～3日(水・祝) 受入生徒数：1人 【丹波並木道中央公園】 期間：11月1日(月)～5日(金) 受入生徒数：4人	10,000	10,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 (丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	○レッスン ・開催期間：7月24日(土)～10月16日(土) 全16回 ・場 所：丹波の森公苑 多目的ルームほか ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・参加者数：47人 ・指 導：劇団ウエスト ・参加費：6,000円 ○発表公演「スノーホワイト」白雪姫 ・開催日：10月17日(日)2回公演 ・場 所：丹波の森公苑ホール ・入場者数：725人 ・入 場 料：大人700円 高校生以下無料	1,734,700	1,734,700
	ウ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援 (協会事務局)	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○「丹波のむかしばなし」を活用した交流会、研修会の実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○小学校のクラブ活動の支援 実施場所：丹波市立大路小学校 内容：語りベクラブのメンバーが「むかし話クラブ」の活動支援を行う。	45,000	33,342
(4)公2共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	100,075,000	97,315,172

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催 【丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会】 (主催:実行委員会事務局を担当し、負担金を支出)	国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しみ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」、「ガラ・コンサート」の開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの開催 ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」及び「キン・コン・カン・コンサート」の実施 ・過去のコンサート映像等の動画配信	テーマ「今こそ！シューベルト」 ・開催期間：9月26日(日)～11月13日(土) ○オープニング・サロンコンサート ・開催日：9月26日(日)2回公演 ・会場：お菓子の里丹波水産館 ・入場者数：118人 ・入場料：大人2,500円(当日3,500円) ○ガラ・コンサート ・開催日：11月13日(土) ・会場：丹波の森公苑ホール ・入場者数：308人 ・入場料：大人2,500円(当日3,500円)、中・高生1,000円(当日1,500円)、小学生以下無料 ○街角コンサート(丹波地域2市2会場) ・入場者数：192人 ○フラッシュ・モブ ・開催日：11月21日(日) ・会場：丹波の森公苑中庭 ・観客数：約200人 ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校) ・参加者数：1,006人 ○キン・コン・カン・コンサート(中・高校共同開催1会場) ・参加者数：278人 ○これまでのコンサート等の動画配信 ・配信動画：90本 ・視聴数：6,400回	1,400,000	1,400,000
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業 (丹波の森公苑)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	○スーパーキッズ・オーケストラ公演「森の妖精コンサート」 ・開催日：12月25日(土)2回公演 ・会場：丹波の森公苑ホール ・入場者数：550人	951,747	951,747
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催 (丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマン約200人が一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来演者との交流を行う。	アートクラフトフェスティバル in たんば 2021 ・開催日：11月6日(土)～7日(日) ・出店者数：135人 ・入場者数：16,000人	400,000	400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催 (丹波年輪の里)	「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。	第33回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展) ○一般の部 ・出展者数：69人、74点(うちテーマ30点) ・展示期間：9月11日(土)～26日(日) ・場所：年輪の里木の館ホール ○ジュニアの部(高校生以下) ・出展数：75点 ・展示期間：10月16日(土)～31日(日) ・出展校等：小学校9校、中学校1校、高校3校、計13校 個人出展4人	900,000	900,000
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○丹波の森新春書き初め展 ・開催期間 ①令和4年1月26日(水)～30日(日) ②令和4年2月5日(土)～9日(水) ・場所 ①丹波の森公苑多目的ルーム他 ②四季の森生涯学習センター東館 ・来場者数 ①1,700人 ②275人 ・出品数：684点 ○兵庫県文化賞受賞者小品展 ・開催期間：10月10日(日)～14日(木) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム ・来場者数：52人 ・出品者数：33人	120,000	120,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	エ 展示ギャラリーの開設 (丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	利用件数：23回(書道展、絵画展、写真展など)	10,000	10,000
	オ 伝統文化活性化支援事業 (丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○子どもたちのための和楽器鑑賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・開催期間：11月～令和4年1月 ・場所：丹波管内の小学校及び特別支援学校9校 ・参加者数：320人	100,000	100,000
	カ 丹波の森公苑芸術文化配信事業 (丹波の森公苑)	緊急対応型雇用創出事業(県委託事業)	WEB配信により、芸術文化の鑑賞機会の提供や芸術文化活動の情報発信を行うため、丹波の森公苑に推進員(1名)を配置して業務を行う。	2,096,000	2,090,812
	キ 座っ展 2021の開催 (丹波年輪の里)	丹波地域の木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。「座る・触る」ことにより、作品のすばらしさを体験することができる。	「座っ展 2021—丹波で坐る木の椅子—」 →開催期間：5月2日(土)～6日(水) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	50,000	50,000
	ク 音楽活動団体等への支援 (協会事務局)	森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公苑ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行うことで、音楽関係団体の発展等に寄与する。	音楽活動振興助成実施要綱(ウチダシュウジ基金活用事業)に基づき、丹波の森公苑ホールを利用された丹波地域で音楽活動を行っている団体に助成金を交付 ・助成団体 1団体	50,000	49,330
(3) 公3 共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	35,425,000	35,401,820

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等 (事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを充実し、タイムリーな情報を提供する。	○年報(年1回発行) ・8月発行 協会ホームページに掲載 ○協会ニュース ・12月発行 関係機関配付 協会ホームページに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ・アクセス件数 延べ 4,582件(兵庫丹波の森協会)〃 〃 24,773件(丹波の森公苑) 〃 25,284件(丹波年輪の里) 〃 30,081件(丹波並木道中央公園) 〃 31,766件(ささやまの森公園) ○フェイスブック、Instagramによる情報発信 ・随時更新	1,457,000	1,454,836
	イ 運営委員会の開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ・開催日：令和4年3月3日(木) 15人出席 ○丹波年輪の里運営協議会 ・開催日：令和4年3月11日(木) 11人出席(おザパー含む) ○ささやまの森公園運営協議会 ・開催日：令和4年3月25日(木) 14人出席 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議 ・第1回：8月4日(火)10人出席 ・第2回：令和4年2月26日(金)9人出席	397,000	314,768

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	○公益目的以外で施設を貸与 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ○施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 ① 飲み物の自販機設置 ② 物販販売場所の提供 ③ レンタサイクル事業 ・丹波年輪の里 ① レストラン施設貸与 ○木工クラフトキット、加工木材等を販売	5,574,000	5,517,990

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：30 団体 【主な実施事業】 ①ふるさと心のをうたう丹波音楽祭 ②丹波文化活動交流会 ③地域文化活動支援事業 ・子ども和太鼓教室 ・子ども池坊いけばな教室 ④丹波伝統文化鑑賞会 ⑤先進地視察研修 ⑥会報誌の発行	200,000	200,000

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 法人会計	ア 協会維持運営 (事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ・第20回評議員会 4月1日(木) (書面同意) 理事の選任について、監事の選任について ・第21回定時評議員会 6月23日(木) 令和2年度事業報告及び収支決算の承認について ○理事会 ・第35回理事会 4月1日(木) (書面同意) 常務理事の選定について ・第36回理事会 6月3日(木) 令和2年度事業報告及び収支決算の承認について、令和3年度収支補正予算(第1次)について、資金管理規程の一部改正について、第21回評議員会の招集について ・第37回理事会 12月24日(金) (書面同意) 令和3年度収支補正予算(第2次)について、資金管理規程の一部改正について ・第38回理事会 令和4年3月18日(金) 特定費用準備資金等取扱規程の制定について、令和3年度収支補正予算(第3次)について、令和4年度事業計画及び収支予算について、第22回評議員会の招集について、事務局長の選任について ○監事監査 5月25日(火) ・令和2年度事業報告及び収支決算について 11月16日(火) ・令和3年度上半期事業報告及び収支決算について ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費	12,283,000	12,220,202

令和3年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1) 丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期使 用料収入	前年度対比
ホール	248	51	20.6	8,136	1,743,000	1,280,900	136.1
練習室兼楽屋	299	153	51.2	3,998	371,300	380,400	97.6
楽屋A	299	29	9.7	325	40,000	32,200	124.2
楽屋B	299	25	8.4	109	13,300	14,200	93.7
創作工房	297	98	33.0	2,625	275,900	176,100	156.7
多目的ルーム	297	173	58.2	9,949	1,033,200	858,000	120.4
和室	297	67	22.6	413	44,600	21,400	208.4
会議室1	297	158	53.2	1,331	149,600	110,050	135.9
会議室2	297	75	25.3	479	64,200	49,750	129.0
会議室3	297	137	46.1	1,577	172,400	127,450	135.3
セミナー室	297	134	45.1	3,092	337,300	372,150	90.6
絵画アトリエ	363	363	100.0	1,815	525,400	525,400	100.0
彫刻アトリエ	363	37	10.2	94	114,150	133,400	85.6
テニスコート	283	261	92.2	10,208	2,792,900	2,214,300	126.1
グラウンド	283	137	48.4	6,492	289,600	272,600	106.2
計	4,516	1,898	42.0	50,643	7,966,850	6,568,300	121.3
前年度計	4,269	1,700	39.8	38,056			
前年度対比		111.6%	105.5%	133.1%			

(2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	269	258	95.9	3,500	0	0	
工作室A	269	9	3.3	256	15,300	19,800	77.3
工作室B	269	54	20.1	2,838	89,850	77,850	115.4
アトリエA	269	63	23.4	852	0	0	0.0
研修室A	269	65	24.2	1,596	152,600	185,950	82.1
研修室B	269	112	41.6	2,151	202,800	219,800	92.3
会議室	269	83	30.9	757	62,100	81,100	76.6
工作共同	269	231	85.9	1,411	116,350	198,020	58.8
イベント広場	269	164	61.0	9,465	130,600	210,900	61.9
計	2,421	1,039	42.9	22,826	769,600	993,420	77.5
前年度計	2,781	1,160	41.7	74,029			
前年度対比		89.6	102.9	30.8			

(3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	308			22,547			
プログラム				1,071			
団体利用				1,127			
その他				369			
運営協議会				14			
計				25,128			
前年度計	308			16,603			
前年度対比				151.3			

(4) 丹波並木道中央公園

内訳	稼働 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	359 (駐車場は 365日 開場)			192,715			
プログラム				2,461			
団体利用				2,231			
その他				0			
円卓会議				35			
計					197,442		
前年度計				175,763			
前年度対比				112.3%			

令和3年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公園指定管理	兵庫県	139,768,000	139,768,000	0	・県立丹波の森公園に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	74,056,000	66,345,000	7,711,000	・県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	15,690,000	15,690,000	0	・県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理 ・県立ささやまの森公園の外壁塗装工事、給水ポンプ整備工事、木柵修繕工事、木橋修繕工事等を行う。 ・感染症防止対策を推進するため、必要な消耗品(マスク・消毒液等)を確保し、安心・安全を図る。	施設の維持管理に係る次の再委託は、省略した。 ・清掃委託 ・機械整備委託 ・各種設備保守管理委託 ・ホール運営業務等		
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	39,854,000	39,854,000	0	・県立丹波並木道中央公園に係る運営管理 ・感染症防止対策を推進するため、必要な消耗品(マスク・消毒液等)を確保し、安心・安全を図る。			
丹波の森公園芸術文化配信事業	兵庫県	2,090,812	0	2,090,812	WEB配信により、芸術文化の鑑賞機会の提供や芸術文化活動の情報発信を行うため、丹波の森公園に推進員(1名)を配置して業務を行う。			
都市公園整備費	兵庫県	4,000,000	733,590	3,266,410	県立丹波並木道中央公園に係る維持修繕業務を行う。			
丹波地域における移住および二地域居住等現状分析業務	兵庫県	980,000	0	980,000	豊かな自然のある地域で過ごしたいという地方回帰の流れが強まる中、都市近郊にありながら、日本の原風景と言ええる田園空間やブランド農産物、集落に残る複数の古民家等の地域資源を有する丹波地域において、移住や二地域居住の更なる推進を図るとともに、他地域での取組促進に資するため、時系列での変化を踏まえつつ、丹波地域における移住及び二地域居住に至る要因分析を行う。			

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
季節を彩るミニガーデンイベントの開催業務	兵庫県	1,500,000	1,500,000	0	花と緑の美しい地域づくり活動を推進するため、丹波地域のサイクリングロードの整備の取組みに合わせて、丹波の森公園苑などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。			
太古の生きものの館の施設管理	丹波篠山市	163,900	152,900	11,000	丹波篠山市立太古の生きものの館の専任職員不在時の施設管理業務を行う。			
丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム事業プロデュース業務		660,000	0	660,000	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業のプロデュースに関することを行う。			
丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム事業オンラインセミナー開催業務		790,000	0	790,000	遠隔地からも参加できるようWeb会議システム等を活用して、部出体験と卵化石研究者による世界最小の恐竜卵化石の解説、篠山層群の魅力解説を行うオンラインでのセミナーを開催する。			
フィールドミュージアム事業の今後の展開についての検討会	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会	253,000	253,000	0	平成26年度に「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」を策定し、構想で提案された様々な事業を展開してきたが、7年が経過する中で改めて構想の達成状況を精査し、今後の事業実施に向け方向性を検討する機会を設ける。なお、当協議会は外部からの知見を取り入れ、事業を推進してきた性質上、これまでからフィールドミュージアムと関わりのある関係者を構成員とし検討会を開催し、方向性を決定する。			
モバイルスタンプラリー実施業務		1,507,000	1,507,000	0	スタンプラリーを活用して、ギネス世界記録に認定された「世界最小の恐竜卵化石」の発見地や恐竜ゆかりの地をめぐる、非接触、長期、分散型のモバイルスタンプラリーを実施する。			

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
丹波篠山市福住地区の戦略的移住推進モデル事業委託調査業務	丹波篠山市福住地区まちづくり協議会	1,250,000	1,250,000	0	・シンポジウム「丹波の森づくりの展開に向けて」の企画及び開催 ・連携プロジェクトアドバイザー ・新たな移住推進の仕組み等の研究調査			
ひょうご森づくりサポートセンター事業木育活動実施支援業務	兵庫県木材業協同組合連合会	990,000	990,000	0	木育キャラバンの実施 ・県が決定した実施箇所について、県立丹波年輪の里に保管している木製玩具等を運搬、運営する。 ・安全に配慮した上で児童を対象に遊びを通じた木育活動を実施する。 ・保育士等職員や保護者等に対して最新の木づかい情報を提供する。			
丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	3,003,000	0	3,003,000	丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援業務(実施計画および中長期計画策定支援) ・丹波地域の里山づくりを行うモデル団体公募により選定された4地区に対してアドバイザーを派遣し、里山づくり活動を支援する。			

286,555,712 268,043,490 18,512,222